

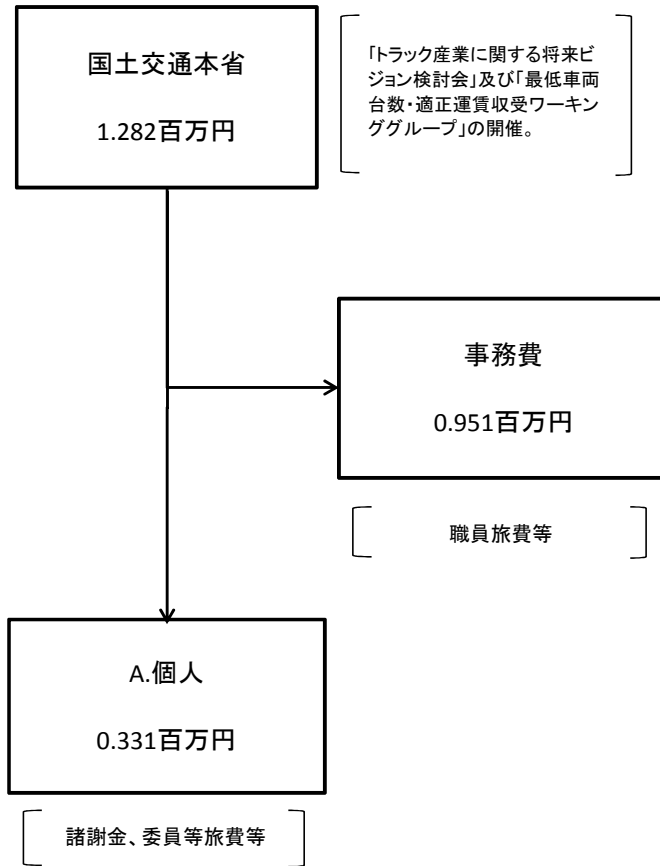
平成24年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	トラック産業将来ビジョン策定等調査		担当部局庁	自動車局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成22年～		担当課室	貨物課		課長 加賀 至	
会計区分	一般会計		施策名	35 自動車運送業の市場環境整備を推進する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	トラック産業の将来ビジョンに関する中間整理 (平成22年7月取りまとめ)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	トラック産業は、産業活動や国民生活に不可欠な貨物の輸送サービスを提供する事業であり、国民生活の向上・社会経済の維持発展に欠かせない重要な社会的基盤である。我が国のトラック産業の有する可能性をもとに、将来に向けた「あるべき姿」の提示と、公平・公正な競争環境の実現のために克服すべき課題を整理するためトラック産業将来ビジョンを策定することとする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> 我が国のトラック産業の有する可能性をもとに、将来に向けた「あるべき姿」の提示と、公平・公正な競争環境の実現のために克服すべき課題を整理するため「トラック産業に関する将来ビジョン検討会」を設置、開催。 平成22年7月に取りまとめられた「トラック産業の将来ビジョンに関する中間整理」を受け、最低保有車両台数のあり方及び適正運賃収受に向けた取組みについて、「最低車両台数・適正運賃収受ワーキンググループ」を設置、開催。 						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		補正予算	—	4	4	4	3
		繰越し等	—				
		計	—	4	4	4	3
	執行額	—	2	1			
	執行率(%)	—	43.4%	34.7%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	・当該検討会は現在も継続して行われており、定量的な成果実績を示すことは困難。 ・ただし、当該検討会での議論を踏まえ、平成22年7月には「トラック産業の将来ビジョンに関する中間整理」を取りまとめたところ。		成果実績	—	—	—	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	「トラック産業の将来ビジョンに関する検討会」及び「最低車両台数・適正運賃収受ワーキンググループ」の開催回数		活動実績 (当初見込み)	回	—	6	2
単位当たりコスト	641,000 (円/回)		算出根拠	単位当たりコスト=X/Y X:平成23年度執行額 Y:平成23年度会議等開催回数			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	2	1				
	職員旅費	2	1				
	委員等旅費	0	0				
	自動車運送業市場環境整備推進調査費	0	0				
	計	4	3				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	国内物流の6割を占めるトラック産業は国民生活に不可欠な社会的基盤であり、その将来ビジョンの策定のためには、関係者からなる検討会にて議論・調査を行う必要がある。 震災の影響等もあり、予定していた回数の検討会を開催しなかったところ。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	検討会の委員にはトラック産業に見識のある者を精査の上選任しており、必要最低限の旅費、謝金等を支出しているところ。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	定量的な成果目標を示すことは困難であるが、検討会の中間整理を行っているほか、中間整理に基づいて当該検討会の下に設置したワーキンググループにて必要な議論を進めているところ。 当該ワーキンググループでは、昨年末に論点整理を行ったところであり、着実に議論を前進させている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>当該会議の開催の際には、価格・立地等を厳しく精査した上で会場を決定するなど、効率的かつ効果的な執行に努めているところ。今後も引き続きコスト削減に努めることとする。</p> <p>【前回の指摘を踏まえた執行上の改善点】 計画的な会議開催に努め、価格・立地等を厳しく精査した上で会場を決定する等により、コスト削減を図った。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善	震災の影響により、会議の開催回数を減らしたことは考慮するが、執行率が低い場合、会議の確実な開催に努め、効果的に事業を遂行すべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
執行等改善	突発的な状況に対しても対応できる様に余裕を持った会議開催計画をたて、会議の確実な開催により、効果的に事業を遂行する。		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	0291

※平成23年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A.個人			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	諸謝金	0			
その他	委員等旅費	0			
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	「トラック産業の将来ビジョンに関する検討会」等会議出席に係る諸謝金等	0		
2	個人B	「トラック産業の将来ビジョンに関する検討会」等会議出席に係る諸謝金等	0		
3	個人C	「トラック産業の将来ビジョンに関する検討会」等会議出席に係る諸謝金	0		
4	個人D	「トラック産業の将来ビジョンに関する検討会」等会議出席に係る諸謝金等	0		
5	個人E	「トラック産業の将来ビジョンに関する検討会」等会議出席に係る諸謝金	0		
6	個人F	「トラック産業の将来ビジョンに関する検討会」等会議出席に係る諸謝金	0		
7	個人G	「トラック産業の将来ビジョンに関する検討会」等会議出席に係る諸謝金	0		
8	個人H	「トラック産業の将来ビジョンに関する検討会」等会議出席に係る諸謝金	0		
9	個人I	「トラック産業の将来ビジョンに関する検討会」等会議出席に係る諸謝金	0		
10	個人J	「トラック産業の将来ビジョンに関する検討会」等会議出席に係る諸謝金	0		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					